

## 近畿大学病院眼科における臨床研究

研究： 後ろ向き研究

研究課題名： 間欠性外斜視の手術前後のプリズム融像幅の比較検討

対象： 2015年11月から2017年12月までに初回斜視手術を行った間欠性外斜視の症例のうち、手術前後でプリズム融像幅の測定を行った間欠性外斜視

研究期間： 倫理委員会承認後4年間

機関名： 近畿大学病院 眼科外来

目的： 間欠性外斜視の手術前と手術後のプリズム融像幅の変化について検討する。

方法： 診療記録から年齢、性別、診断名、随伴疾患、斜視の治療歴、視力値、視力矯正値、屈折値、両眼視機能、交代プリズム遮閉試験結果、プリズム融像幅結果について調査する。

倫理的配慮： 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止する。

---

## 間欠性外斜視のプリズム融像幅の比較に関する調査

---

間欠性外斜視の手術前後の融像幅の変化の有無と、術後の斜位の維持と融像幅との関連について検討する。術後の斜位の維持との関連が明らかになれば術後予測が可能となり、融像幅に対するアプローチを含めた治療計画が可能となる。成果を公表する場合は匿名化を行い、個人情報保護に努める。

問い合わせ先：〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

Tel 072-366-0221 近畿大学医学部眼科学教室

研究責任者 視能訓練士 成田 竜